

# 豊田民報

日本共産党豊田市委員会  
◆豊田市日之出町一六六  
Tel: 三四・四七二  
毎週一回発行

## 大村市議・3月議会一般質問報告 豚コレラへの対応、被害への支援を

2月26日、日本共産党の大村よしのり市議は3月市議会一般質問に立ちました。

### 感染被害農家や関連産業の被害に対する支援

豊田市内で発生した豚コレラは、関係する農家のみならず、地域に大きな不安を与えています。対策について国・県への支援を要請しつつ、市独自の対策についても提言しました。

■大村市議は、殺処分した感染被害農家や周辺該当農家、食肉加工業など関連産業への支援を提起しました。

◇答弁では、殺処分となった被害については国から補償される、防疫処置の消毒経費は県が持っている」と答えました。また、経営再開資金の

ための支援が実施される。関連産業への影響は把握できていないという事でした。

### 野生イノシシ対策は他人ごとではない

■大村市議は、野生イノシシへの感染の拡大は他人ごとではないとして、野生イノシシの感染拡大への対策を提起しました。また、ジビエ関連業者への支援も提起しました。

◇答弁では、野生イノシシの捕獲事業を県とともに強化する事、また、国により野生のイノシシ向けにワクチン入りの餌の散布が計画されていると答弁がありました。ジビエへの対応では、風評被害の対策を行っている」と答弁がありました。

■大村市議は、豚舎の消毒などの防疫措置には、多額の費用がかかる」として、農家への消毒

### 全頭殺処分とワクチン接種の問題とは

豚コレラの発生を防ぐために、かつて、日本でも生ワクチンの使用が認められていましたが、ワクチンを使わないで発生を抑え込む、いわゆる「清浄国」をめざして対策を重ね、2006年3月にワクチン接種を完全に中止して「清浄国」を宣言しました。

そのために、豚コレラが発生した場合の対策としては、全頭殺処分による埋却が必要とされています。国の方針、政策で取られる処置ですから、当然、必要な補償がされなくてはなりません。

薬の支援を提起しました。また、家畜伝染病の万一の発生に備えて、直ちに必要となる防疫資材等を事前に整

備し備蓄する体制をとる事や、殺処分し埋却する場所の確保についても提案しました。

## 自転車に乗って、有権者へ 日本共産党の政策を訴え



県議選、市議選の告示日が迫っています。政策を広く有権者に聞いてもらおうと、大村よしのり県議選予定候補、本多のぶひろ市議選予定候補は、自転車に乗って、街頭の辻々に立ってハンドマイクで訴えています。手を振って、応援してくれる市民も目立ってきました。



3月議会

# 根本みはる市議の一般質問①

## 子ども園・放課後児童クラブ充実で子育て支援を

中山間地域、特に合併町村の過疎化が深刻となる中、子ども園の存在が地域の維持に重要な役割を果たしています。市では、子ども園の統廃合の基準として、3歳児保育要件が解除されている、通園可能な範囲に他の園がある、園児数9人以下が継続することが見込まれることを設定しています。旭地区では、杉本子ども園と小渡子ども園の統廃合が検討されました。旭地区のこの5年の児童数は、64人から91人に、杉本子ども園の園児数は、26人から58人に、小渡子ども園の園児数は、11人から9人になっています。保護者も地域住民も、統廃合より子ども園の存続を願っています。

### 統廃合より子ども園存続を

豊田市はかつての議会ですら子ども園について「定住対策、コミュニティの維持に重要」と位置付けてきました。しかし、現在ではその位置付けはされていません。

### 民間委託は支援員の確保のため？

根本市議は、子ども園の統廃合は、人数だけで当てはめるのでは無く、地域の未来をつくるために、保護者や地域の願いを受け止めるべきと意見を述べました。

### 民間委託は支援員の確保のため？

豊田市では、人材確保などを目的として、放課後児童クラブの民間委託が始められて4年となります。放課後児童クラブ支援員は、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業の設備および運営に関する基準」に位置付けられた放課後児童クラブの職員で、その高い専門性を発揮し、子どもたちの生活と育ちを支える重要な職員です。その支援員が今も不足している状況だというのが現場の声です。市の認識は、これまでと変わることなく、根本市議は、実態をよく把握すべきと意見を述べました。

政府は支援員の確保が難しいことから、配置基準を「従うべき基準」から「参酌基準」に変更する閣議決定をし、今国会で法改正を予定しています。現行の厚労省令では「放課後児童支援員」の資格を持った職員を「原則2名配置」が必要だとしています。この基準を下げて「1人配置」を認めるものです。市は「1人配置」について、国の動向をみるとしていますが、子どもの安全確保を最優先に、「1人配置は認めない」という判断をすべきです。

### 研修を勤務としない事業者市は認めるのか

また、支援員資格を得るための研修「放課後児童支援員認定資格研修」は、その受講が放課後児童クラブの支援員に義務付けられています。ところが、その研修を勤務扱いにしない事業者の実態があります。市は、「事業者の判断だ」とし、丸投げの姿勢です。これは、民間委託の弊害として、問題なのは明らかです。



## アベ政治許さない 3・3ひな祭りデモ

毎月3日のアベ政治を許さない宣伝行動が、3月3日、豊田市駅デッキで行われました。憲法署名には、若い人からも協力がありません。参加者は、「消費税10%への増税は中止を」と訴え、ドラムを使ってコールも行われました。



## あの日から8年! 福島を忘れない!

特別行動

## さよなら原発豊田市民行動

# 3月11日(月)

## 午後2時10分

### 市役所東庁舎南側歩道 集合

中電営業所前までパレードします。  
8年目を迎える特別行動デーです。  
ご参加を!!

主催・さよなら原発豊田市民行動